



文治年間南部三郎光行
此所の踏石盤を往るの故に
今廟に在り

向鶴銅製品
(南部町指定文化財)

戦国大名南部氏の中心居館 史跡聖寿寺館跡国指定20周年記念 第19回 南部町大会 交流会

令和6年度南部ふるさと塾 第1回講座共同開催
「戦国大名南部氏の興亡と街道」

令和6年 9月28日(土)・29日(日)

南部町立町民ホール「楽楽ホール」

〒039-0502 青森県三戸郡南部町大字下名久井字白山81

◆主催 とうほく街道会議第19回南部町大会実行委員会

南部町教育委員会・青森河川国道事務所・とうほく街道会議
あおりかいどう会議・南部町商工会・南部町観光協会
南部屋形聖寿寺館ガイドの会

◆共催 南部町歴史研究会

◆主管 南部町教育委員会社会教育課

◆協賛 株式会社青森テレビ・南部町商工会・南部町観光協会・青森三菱電機機器販売株式会社

◆後援 南部町郷土芸能保存会/いわて街道ネットワーク/みやぎ街道交流会

関山街道フォーラム協議会/出羽の古道 六十里越街道会議

越後米沢街道 十三峠交流会/ふくしまけん街道交流会

羽州街道交流会/NPO法人東北みち会議/NPO法人全国街道交流会議

(一社)東北地域づくり協会/日本考古学協会/NHK青森放送局/青森放送株式会社

青森朝日放送株式会社/株式会社東奥日報社/株式会社デーリー東北

とうほく
街道会議



とうほく街道会議

令和6年度 南部ふるさと塾 「戦国大名南部氏の興亡と街道」
第1回講座共同開催

第19回交流会 南部町大会 プログラム

《開催主旨》 南部町は南部藩発祥の地といわれ、南部氏一族の盟主で北東北最大の戦国大名であった三戸南部氏が室町時代から戦国時代にかけて本拠地を置いた場所である。三戸南部氏は奥州街道と八戸-鹿角街道が交差する交通の要衝であった本三戸に聖寿寺館を築いた。聖寿寺館跡はその歴史的価値が認められ、平成16年9月30日に国史跡に指定された。

近年、聖寿寺館跡の発掘調査をはじめ考古学や文献史学の調査研究が進み、これまで謎に包まれていた南部氏の実態が解明されつつある。本年は聖寿寺館跡の国指定から20周年の節目となることを記念し、「とうほく街道会議第19回大会」を令和6年度南部ふるさと塾「戦国大名南部氏の興亡と街道」と共同開催し、町民及び県内外の街道・歴史ファンを対象に、北東北の城館と街道にスポットを当て、講演会やパネルディスカッションにより南部町の歴史遺産を全国に発信するものである。

第1日目 9月28日(土)

フォーラム／活動紹介パネル展／交流会第二部「街道談義」

I. フォーラム 13:30～17:00

申込不要 参加料：500円（南部町民無料）

- ・オープニング 南部町郷土芸能保存会 郷土芸能披露
- ・主催者挨拶 南部町大会実行委員長 高橋 力也
- ・開催地挨拶 南部町長 工藤 祐直 様
- ・とうほく街道会議代表挨拶 とうほく街道会議 会長 宮原 育子
- ・来賓挨拶 青森河川国道事務所 所長 大石 珠希 様

【基調講演】「北東北の城館と道」講師：工藤 清泰 氏（青森県考古学会元会長）

北東北の拠点的中世城館では、城域の中を道が通る。城と道のどちらが先に成立していたかの問題はあがるが、近世の城郭にはない特徴として、中世以前の社会を象徴する事象だ。重なり合う「シロ」と「ミチ」から古層を探る。

【研究報告】若松 啓文 氏（東北史学会会員）

「糠部駿馬は奥羽山脈を越えて京都へ向かった…

三戸南部氏の遠隔地所領と室町・戦国時代の都鄙間交通」

南北朝時代以降、陸奥国糠部郡三戸を拠点に勢力を拡大した三戸南部氏は出羽国仙北金沢等に遠隔地所領を与えられており、これらの所領は京都へ繋がる交通の要衝にあった。遠隔地所領を経由して、三戸からは糠部駿馬が上り、京都からは武士や僧侶が文物を携えて下ってきた。京都には三戸南部氏一族が常駐した可能性もあるなど、三戸南部氏と京都との強い結びつきについて概説する。

布施 和洋 氏（南部町教育委員会） 「聖寿寺館跡と奥州街道」

聖寿寺館跡は三戸南部氏の室町・戦国期の本拠地であり、「奥州街道」と「八戸-鹿角街道」が交差する交通の要衝に築かれた。付近の街道はいたるところで意図的に折り曲げられ、要所に柵形も設置されている。また、聖寿寺館を中心とする「本三戸」の入口と考えられる北の「伝木戸口」と南の「地獄澤土橋」は切通となっており、当時の防御面を意識した街道整備が伺われる。

【パネルディスカッション】「戦国大名南部氏と道」

コーディネーター：永井康雄氏（山形大学教授）

パネリスト：工藤清泰氏（青森県考古学会元会長）

若松啓文氏（東北史学会会員）

布施和洋氏（南部町教育委員会）

【郷土料理出店】（せんべい汁）南部町商工会女性部 12:00～16:00 無くなり次第終了

II. 活動紹介パネル展 12:30～17:00

III. 交流会 第二部「街道談義」18:00～20:00

要申込 会費：5,000円

会場：バーデパークアヴァンセふくち 南部地方の郷土料理や地酒による交流会

講師プロフィール



くどう きよひと
工藤 清泰 氏（青森県考古学会元会長）

1955年青森県つがる市生まれ。北日本の古代・中世考古学研究者。1978年弘前大学教育学部卒業後、史跡浪岡城跡の発掘調査に従事。新編弘前市史・五所川原市史・浪岡町史・新青森市史・青森県史の執筆に関わる。現在、日本考古学協会会員、東洋陶磁学会会員。主な著作論文として、1997年「考古学研究における境界性…古代・中世への視点から…」『青森県史研究第1号』青森県、2000年「蝦夷人の往来—津軽海峡—」『ものがたり日本列島に生きた人たち10 景観』岩波書店、2004年『浪岡町史』第2巻（編著）浪岡町、2005年「北へ向かった人々—謎の埋納銭をめぐる—」『日本海域歴史体系第3巻中世篇』清文堂、2017年『東北の名城を歩く 北東北編』（共著）吉川弘文館、2021年『鎮魂譜 忘れがたき人びと』青森文芸出版 など。



わかまつ ひろふみ
若松 啓文 氏（東北史学会会員）

1971年青森県弘前市生まれ。専門は北奥・北海道の中世史、中世南部氏。1998年宮城教育大学大学院教育学研究科修了。2003年から青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループに勤務し、『青森県史』中世編の資料編纂を担当。南部町の史跡聖寿寺館跡調査整備委員、(仮称)展示収蔵施設整備委員をはじめ、北海道上ノ国町歴史文化基本構想策定委員会委員など、各地の審議委員に就任。主な著書に、2006年「安藤氏の系譜認識」『東北の中世史〔3〕室町幕府と東北の国人』（吉川弘文館）、2021年「九戸一族の軌跡」『戦国大名南部氏の一族と城館』（戎光祥出版）など。



ふせ かずひろ
布施 和洋 氏（南部町教育委員会社会教育課史跡対策室総括主査）

1981年北海道函館市生まれ。専門は中世考古学・城館研究。日本考古学協会会員。2009年北海道大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。同年南部町教育委員会に入庁。現在は主に発掘調査、展示収蔵施設整備を担当。主な著作論文は、2006年「ロシア沿海地方金・東夏代城址の調査」『北東アジア中世遺跡の考古学的研究』、2017年『東北の名城を歩く 北東北編』（共著）吉川弘文館、2021年『戦国大名南部氏の一族と城館』戎光祥出版（共著）、2021年『戦国の北奥羽南部氏』（共著）デーリー東北新聞社、2021年『戦国・織豊期の地域社会と城下町 東国編』（共著）戎光祥出版、2024年『中世東北の城』（共著）高志書院等 など。



ながい やすお
永井 康雄 氏（山形大学教授）

1961年埼玉県生まれ、日本建築史学者。1988年東北大学大学院工学研究科修了。1998年東北大学講師。2007年東北大学准教授。2010年山形大学教授。南部町の史跡聖寿寺館跡調査整備委員会、(仮称)展示収蔵施設整備委員会をはじめ、国内各地の調査委員会、審議委員会の委員として活躍。1997年博士(工学)。主な著書論文に、2021年「日本のたてもの：自然素材を活かす伝統の技と知恵」（共著）青幻舎、2013年「災害への対応と対策—歴史的建築を未来に伝えるために」（共著）日本建築学会 など。



青森三菱電機機器販売株式会社

本社 TEL.017-735-7800

青森県青森市中央1丁目23-4 タイヤビル2F

営業本部 TEL.017-735-7868

青森県青森市中央1丁目23-4 タイヤビル3F

青森支店 TEL.017-766-2390

青森県青森市森田3丁目1-4

八戸支店 TEL.0178-28-1541

青森県八戸市御センター2丁目7-28

弘前支店 TEL.0172-34-3207

青森県弘前市大字神田1丁目1-2

仙台支店 TEL.022-216-4649

宮城県仙台市青葉区花京院1丁目1-20 花京院スクエア9F

盛岡支店 TEL.019-681-2853

岩手県盛岡市盛岡駅前通3-63 第2基ビル3F



A 奥州街道コース【定員40名】

ガイド: 南部町教育委員会・布施 和洋氏 / 南部屋形聖寿寺館ガイドの会

①バーデパーク 出発 8:40

②南部支所 出発 9:00

③三戸駅 出発 9:10

唐馬の碑 到着 9:15

地獄澤土橋跡

馬場館跡

県重宝南部安信の宝篋印塔

追分石

明治天皇休憩所碑

聖寿寺館跡

南部利康霊屋

霊屋駐車場 出発 12:00

三戸駅 出発 12:10

南部支所 出発 12:20

バーデパーク 到着 12:40

※①~③のいずれかから
バスに乗りまして下さい



唐馬の碑



聖寿寺館跡 (調査区)



南部利康霊屋

B 法光寺街道(参道)コース【定員40名】

ガイド: 白華山法光寺39世住職・楢山武浩氏

①バーデパーク 出発 8:40

② 剣吉駅 出発 8:50

③南部町役場 出発 9:05

出逢坂 到着 9:15

御坊塚

法光寺黒門

県天然記念物・法光寺参道松並木

県天然記念物・爺杉

法光寺山門

三重塔「承陽塔」

法光寺本堂「座禅体験」

法光寺 出発 12:00

南部町役場 出発 12:15

剣吉駅 出発 12:25

バーデパーク 到着 12:35

※①~③のいずれかから
バスに乗りまして下さい



法光寺境内



法光寺参道松並木



爺杉

松前街道
乳井通
大豆坂通
西浜街道
十三街道

下之切街道
目屋街道
百沢街道
黒石街道
みちのく松蔭道

羽州街道



鹿角街道
三戸街道
浜街道
久慈街道
登り街道

北浜街道
田名部街道
西通街道
北通街道

奥州街道

青森県の歴史街道

おかげさまでわっち!!は10年目



ATVアプリでリアルタイム配信

